

索引 【五十音引】

本索引は必ずしも古い用例に従はず、便利を旨とし、主として口語に依り、また漢字の頭文字を類聚するなど簡便化に努めた、すなはち「ク」を「カ」とし「イウ」を「ユ」の部に収録した類である。なほ意味や発音で二様に表現し得るものは二ヶ所に入れたものもあり、件名の取り方を變へて二三ヶ所に収めたものも少くない。

アール(面積)	六九六
R一〇一號飛行船墜落	三〇四
アイスランド	四九七
アイランド	四九八
アイヌ人口	四九七
愛知縣(地方年観)	四九七
(道府縣統計参照)	
青森縣(地方年観)	四九七
(道府縣統計参照)	
赤字問題	一〇六
赤字問題(中央財政)	一〇六
秋田縣(地方年観)	四九七
(道府縣統計参照)	
朝香宮	三〇三
朝日會館	四九六
朝日新聞(一覽)	三〇三
朝日新聞社會事業團	三〇三
朝日新聞社太平洋橫斷飛行	三〇三
に懸賞	三〇三
朝日賞	三〇三
朝日ビルヂング	三〇三
アジア(面積、人口)	三〇三
アビシニア	三〇三
アフガニスタン	三〇三
アメリカ州(面積、人口)	三〇三
アメリカ合衆國	三〇三
政治、社會、經濟、最近の政情	三〇三
アラビヤ	三〇三
有栖川宮記念學術獎勵金	三〇三
アルゼンチン	三〇三
アルパニア	三〇三
アンドラ	三〇三
位階	三〇三
醫學の進歩(科學知識)	三〇三
伊機編隊で大西洋橫斷	三〇三
イギリス	三〇三
政治、社會、經濟、最近の政情	三〇三
イギリス勞働爭議統計	三〇三
園藝	三〇三
石川縣(地方年観)	三〇三
(道府縣統計参照)	
醫師、藥劑師、産婆の數	三〇三
イタリ	三〇三
政治、社會、經濟、最近の政情	三〇三
一審刑法犯有罪被告年齢別數	三〇三
一般會計減入減出	三〇三
茨城縣(地方年観)	三〇三
(道府縣統計参照)	
移民(本邦)	三〇三
移民(列國)	三〇三
岩手縣(地方年観)	三〇三
(道府縣統計参照)	
印紙税法摘要	三〇三
印度國民運動	三〇三
インド	三〇三
飲食店	三〇三
飲食物其他の検査成績	三〇三
院展	三〇三
ダイタミン	三〇三
ウインタースポーツ	三〇三
ウエネズエラ	三〇三
梅若流(樂師)	三〇三
ウルグアイ	三〇三
運河(外國)	三〇三
運賃(海外旅行)	三〇三
運賃(汽車)	三〇三
運動競技	三〇三
エア・ガール	三〇三
映畫・演藝	三〇三
映畫界大觀	三〇三
映畫界の主なる出來事	三〇三
映畫俳優(名鑑)	三〇三
映畫館數	三〇三
英海軍大飛行	三〇三

英印圓卓會議	四九六
英印平和協定	四九六
英經濟觀察團の極東派遣	四九六
英帝國會議	四九六
營業收益稅業別表、同納額別人員表	四九六
營業收益稅法の改正	四九六
營業成績(銀行會社)	四九六
營林局長(人名録)	四九六
榮養素	四九六
衛生	四九六
衛戍部隊(陸軍、人名録)	四九六
同(海軍同)	四九六
廳長(人名録)	四九六
エクアドル	四九六
エストニア	四九六
エチオピア	四九六
越獄事件判決	四九六
愛媛縣(地方年観)	四九六
(道府縣統計参照)	
エヤ・ポト(日本)	四九六
エヤ・ライン(日本)	四九六
演藝日誌	四九六
演劇狂言一覽表	四九六
煙突男(富士紡争議)	四九六
オ	
歐亞聯絡航路運賃	四九六
オーストラリア(濠洲)	四九六
オーストリア	四九六
應訴義務受託國	四九六
黃梨(一覽)	四九六
大分縣(地方年観)	四九六
(道府縣統計参照)	
大藏省(人名録)	四九六
大藏大臣(歴代)	四九六
大阪朝日航空標識燈	四九六
大阪朝日新聞(一覽)	四九六
大阪卸賣物價表	四九六
大阪港入港一覽	四九六
大阪市	四九六
大阪商船會社	四九六
大阪帝國大學	四九六
大阪飛行場	四九六
大阪府(地方年観)	四九六
(道府縣統計参照)	
歐洲航路運賃	四九六
歐米の新開(列國國勢参照)	四九六
岡山縣(地方年観)	四九六
(道府縣統計参照)	
沖繩縣(地方年観)	四九六
(道府縣統計参照)	
オペラ	四九六
オランダ	四九六
織物生産高(道府縣別)	四九六
織物消費稅法の改正	四九六
御歌會始	四九六
音楽・舞踊	四九六
恩給法改正要點	四九六
恩給法摘要	四九六
恩賜賞(受賞者)	四九六
温泉案内	四九六
女醫學博士	四九六
女バラシユーター	四九六
カ	
海員協會	四九六
海運運賃表	四九六
海外進出(日本美術)	四九六
海外への旅客運賃	四九六
海軍	四九六
海軍一年史	四九六
海軍各學校	四九六
海軍機台機飛行	四九六
海軍現役年齢延長	四九六
海軍工廠の職工整理	四九六
海軍國防問題(議會)	四九六
海軍省(人名録)	四九六
海軍大臣(歴代)	四九六
海軍特別大演習	四九六
海軍の大飛行艇計畫	四九六
海軍飛行船滯空世界新記録	四九六
海軍補充計畫(議會)	四九六
海防艦	四九六
海軍労働組合聯盟	四九六
海軍船舶遭難原因	四九六
海技及び水先免狀受有者	四九六
海上部隊(海軍、人名録)	四九六
海洋	四九六
解禁第一年の金流出入	四九六
解散一覽表(衆議院)	四九六
解散(會社の)	四九六
解消運動(無産黨)	四九六
會計検査院(人名録)	四九六
會社社債	四九六
會社社債總額累年比較	四九六
槐樹社展	四九六
快晴日數(氣象)	四九六
外交	四九六

外交一年史(米田博士)	一三三	各國大公使一覽	三〇七	樂人動靜	三〇五	霞ヶ浦航空隊	三九
外國爲替相場	一三六	各國中央銀行の資産負債表	二九〇	歌劇(台めた歌劇)	三〇三	カフエー女給	三〇
外國航路運程	一三七	各國通商流通高	二九〇	鹿兒島縣(地方年報)	三〇四	株價指數	一八一
外國債	一三三	各國の植民地と屬領(列國)	二九〇	(道府縣統計参照)		株式	一〇
外國電信(規則)	一三三	國勢参照)		火災度數及罹火戸數	三〇四	株式恐慌	一〇
外國貿易輸出入累年表	一三七	各國の宗教(列國國勢参照)	二九〇	火力兵器	三〇三	株式好況(六年以上)	一〇
外國郵便(規則)	一三三	各國民の平均壽命比較	二九〇	火山活動(氣象)	三〇三	株式相場累年表	一〇
外國郵便數、到着日數	一三三	各國民間飛行場	二九〇	火曜會(貴族院)	三〇三	株式取引所(一覽)	一〇
外貨輸入現在高	一三三	各國郵便貯金比較	二九〇	貨座數	三〇三	株式利廻表	一〇
外務省(人名錄)	一三三	各地の標準時(時差)	二九〇	貸出(全國銀行の)	三〇三	株式拂込高	一〇
外務大臣(歴代)	一三三	學位授與數	二九〇	河川(本邦)	三〇三	歌舞伎俳優(名鑑)	一〇
化學工業(科學知識)	一三三	學校總覽	二九〇	同(世界)	三〇三	貨物輸出入高(世界主要國)	一〇
化學兵器	一三三	學校卒業者數(諸學校總覽)	二九〇	活字の單位	三〇三	賈陽宮	一〇
科學知識	一三三	學士院(會員、學士院員)	二九〇	活動寫眞館數	三〇三	カラット(量目)	一〇
科學兵器(科學知識)	一三三	學士院議員(貴族院)	二九〇	風、風力	三〇三	樺太廳(人名錄)	一〇
香川縣(地方年報)	一三三	學術	二九〇	華族有位者	三〇三	樺太教育	一〇
(道府縣統計参照)		學術研究會	二九〇	華族一覽(人名錄)	三〇三	產業	一〇
各國(列國)の部参照		學術團體	二九〇	華族(降嫁の皇族及士族)	三〇三	主要都市人口	一〇
各國耕地面積	一三三	學生一人當り教育費	二九〇	家庭用メトリル法	三〇三	種族別人口累年比較	一〇
各國國債高	一三三	學生、生徒、兒童數	二九〇	家庭常識	三〇三	簡易食堂	一〇
各國富比較	一三三	學生訪歐機出發	二九〇	家庭知識	三〇三	簡易保險	一〇
各國歲入出比較	一三三	學童數(學校總覽)	二九〇	神奈川縣(地方年報)	三〇三	閑院宮	一〇
各國人種生產高	一三三	學務部長(人名錄)	二九〇	(道府縣統計参照)		勸業銀行(人名錄)	一〇
各國正貨保有高	一三三	樂界の國際化	二九〇	金澤市	三〇三	官業及官有財産收入表	一〇
各國生計費指數	一三三			カナダ	三〇三	官業勞動總同盟	一〇

官公立大學長	三三	官廷	三〇	貴族院各派幹部(人名錄)	三〇	競技	一〇
官國幣社一覽	三三	宮廷錄事	三〇	貴族院議員(人名錄)	三〇	狂言一覽表	一〇
官立學校學生一人當教育費	三三	救護法施行令公布	三〇	貴族院における論戰	三〇	行刑	一〇
官立大學	三三	九州帝國大學	三〇	北アメリカ洲(面積人口)	三〇	行政整理(若槻内閣)	一〇
漢口地方の大震災	三三	九星早見表	三〇	北白川宮	三〇	行政裁判所(人名錄)	一〇
關西府縣青年競技	三三	牛乳に関する調査	三〇	喜多流(樂師)	三〇	共産黨事件	一〇
關西府縣青年長距離傳	三三	キユーバ	三〇	軌道(一覽表)	三〇	狂水病及び狂犬病	一〇
干支表	三三	舊曆	三〇	岐阜縣(地方年報)	三〇	競漕	一〇
監政本部(人名錄)	三三	氣溫及雨量(列國主要都市)	三〇	(道府縣統計参照)		京都市	一〇
監隊(人名錄)	三三	氣候、氣溫、氣壓	三〇	希望決議(衆議院)	三〇	京都市	一〇
關東州	三三	氣球世界記録	三〇	同(貴族院)	三〇	京都帝國大學	一〇
關東州產業	三三	氣象大要(昭和五年)	三〇	ギリシヤ	三〇	京都府(地方年報)	一〇
關東州主要都市人口	三三	機械化兵器	三〇	基督教	三〇	(道府縣統計参照)	
觀世流(樂師)	三三	戲曲界	三〇	キログラム(量目)	三〇	共同宿泊所及簡易食堂	一〇
廣東政府樹立	三三	棋士(碁)	三〇	キロメートル	三〇	金融	一〇
		棋士(碁)	三〇	キロリットル(量)	三〇	金融及資金	一〇
		貴衆兩院議員一覽表	三〇	教育	三〇	金融業者の財界安定策	一〇
		忌辰録(故人録)	三〇	教育(關東州)	三〇	金銀產額(世界)	一〇
		棋正社棋士	三〇	教育(台灣)	三〇	金利	一〇
		汽船會社	三〇	教育(朝鮮)	三〇	銀行會社營業成績	一〇
		汽船數	三〇	教育總監部(人名錄)	三〇	銀行會社計畫資本內譯	一〇
		貴族院事務局(人名錄)	三〇	教員數(諸學校總覽)	三〇	銀行勸定	一〇
		貴族院改革問題	三〇	教員俸給不拂町數	三〇	銀行債券總額累年比較	一〇
				教員俸給不拂町數	三〇	銀產額(世界)	一〇

空界の一年	三三	軍事參議院(人名録)	三二	禮馬法の改正	六三	特殊官吏と囑託員	二八
空中自殺者現はる	三三八	軍人待遇改善と新法律	三二	禮馬界の最高レコード	六三	減俸断行	二二
グアテマラ	三三三	軍縮による減税	三六	刑法犯有罪被告年齢別数	三六	減俸反對運動	二二
宮司(官國幣社一覽)	三三三	軍制改革(首相代理の演説)	三三	劇壇の傾向	三六	元首(列國)	二二
區裁判所扱民事件数	三三三	軍制改革案成る	三三	劇場数	三六	(列國勢参照)	二二
驅逐艦	三三三	軍備縮小(國際聯盟)	三三	華嚴宗(一覽)	三六	元帥府	二二
宮内省(人名録)	三三三	軍令部(人名録)	三三	下水道	三六	元帥府(人名録)	二二
宮内省御用掛	三三三	應應義塾半大學	三三	血脈體温及び脈搏數	三六	元奉の數	二二
宮内大臣(歴代)	三三三	經濟界の一年(牧野博士)	三三	結婚死亡者	三六	縣社數	二二
久瀨官	三三三	經濟關係の法律	三三	結婚	三六	縣知事(人名録)	二二
熊本縣(地方年報)	三三三	警察官署及職員(地方別)	三三	結婚記念式	三六	憲兵隊長(人名録)	二二
(道府縣諸統計参照)	三三三	警察部長(人名録)	三三	縣會議員黨派別一覽表	三六		
熊本市	三三三	警視廳(人名録)	三三	縣會議長(人名録)	三六	基	
グライダー世界記録	三三三	刑事事件別總數	三三	研究會役員(人名録)	三六	皇宮、御所、離宮	
グラム(量目)	三三三	刑事補償法	三三	健康優良兒	三六	皇族	
クリスト教(基督敎参照)	三三三	刑務所收容人員	三三	減資、解散(會社の)	三六	皇族	
吳市	三三三	京城帝國大學	三三	減税(軍縮による)	三六	公益市場賣上	
動車	三三三	藝妓、酌婦、遊廓地方別	三三	減税案が成るまで(議會)	三六	公學費地方團體別累年比較	
軍艦備砲(艦艇一覽)	三三三	府縣市町村吏員	三三	減俸(中央財政)	三六	公使(本邦駐在各國)	
軍事救護	三三三			減俸問題	三六	公使館	
軍事救護法改正	三三三			首相の聲明	三六	公使館(人名録)	
				府縣市町村吏員	三六	公使(人名録)	
						公正會(貴族院)	

公務自由業人口(列國職業別)	七六	航空母艦	三三	光學應用兵器	二六	神戸港入港船一覽	三三
公立大學	七六	航空郵便(料金)	三三	光電管(フオトセル)(科學知識)	二六	神戸市	三三
公債	七六	航空用計器(科學知識)	三三	鋼材需給高	二六	港灣、主要港間運程	三三
公債政策の改變	七六	航路標識數	三三	鋼生産高(世界)	二六	構造社展	三三
公社債株式拂込高	七六	高壓化學工業(科學知識)	三三	鋼需給	二六	行旅病人	三三
公社債比較表	七六	高空と深海の研究(科學知識)	三三	鑛業人口(列國職業別)	二六	郷社數	三三
航空(海軍)	三三	高山及名山(本邦)	三三	鑛產高(道府縣別)	二六	濠洲	三三
航空(陸軍)	三三	高山(世界)	三三	鑛山物産高累年表	二六	胡漢民の失脚(民國)	三三
航空(海軍)	三三	高師及女高師累年比較	三三	控訴院扱民事件數	二六	國營小兒保險	三三
航空(陸軍)	三三	高層建築物(内外)	三三	控訴院扱民事件數	二六	國畫會展	三三
航空官(人名録)	三三	高等學校長(人名録)	三三	耕地整理法の改正	二六	國際移動寫眞展	三三
航空關係の諸團體と研究所	三三	高段棋士(將棋)	三三	耕地所有者戸數	二六	國際外交	三三
航空機乗員數(日本民間)	三三	高段棋士(碁)	三三	耕地段別、農家戸數	二六	國際航空委員會	三三
航空機發動機製作所	三三	高知縣(地方年報)	三三	農産物收穫高表	二六	國際航空聯合會	三三
航空研究所	三三	(道府縣諸統計参照)	三三	耕地面積(各國)	二六	國際統計	三三
航空研究所(科學知識)	三三	高等學校累年比較	三三	交友俱樂部(貴族院)	二六	國際支拂延期と財界	三三
航空研究所開く	三三	高等師範學校	三三	交通運輸累年表	二六	國際親善週間	三三
航空船世界記録	三三	高等女學校累年比較	三三	交通業人口(列國職業別)	二六	國際寫眞サロン	三三
航空燈台(日本)	三三	降線せられたる皇族及王族	三三	交通通信	二六	國際收支(貿易外)	三三
航空發達小史(本邦)	三三	降線せられたる皇族及王族	三三	侯爵(人名録)	二六	國際放送	三三
航空部隊(海軍、人名録)	三三	降線せられたる皇族及王族	三三	廣告取次店一覽	二六	國際モラトリアム問題	三三
航空部隊(陸軍、人名録)	三三	降線せられたる皇族及王族	三三	廣告目次	二六	國際聯盟	三三
航空兵器	三三	降線せられたる皇族及王族	三三	興業銀行(人名録)	二六	國際聯盟、非聯盟國	三三
航空評議會	三三	降線せられたる皇族及王族	三三	興行場	二六	國際聯盟婦人部	三三
						國際聯盟役員(人名録)	三三

國際聯盟總會(第十一回)	二〇六	國立試驗場長(農林省一人名錄)	七〇
國際勞動會議(第十五回)	二〇六	御所及御苑	三三
國際勞動代表	二〇六	御殿所在地	三三
國債	二〇六	御獵場	三三
國債高(各國)	二〇六	御歴代帝號	三三
國債總額(累年比較)	二〇六	湖沼(本邦)	三三
國債明細表(統計一覽)	二〇六	同(世界)	三三
國勢調査	二〇六	故人録	三三
國勢比較	二〇六	五十九議會	三三
國幣社	二〇六	小作爭議關係範圍比較表	三三
國寶	二〇六	小荷物運賃(鐵道)	三三
國民黨及び國民政府組織系	二〇六	コスタリカ	三三
統圖(民國)	二〇六	米收穫高累年表	三三
國民政府の財政	二〇六	米需給對照表	三三
國民同志會	二〇六	米の生産費	三三
國有鐵道	二〇六	顧問官(樞密院一人名錄)	三三
國有財産表	二〇六	ゴルン	三三
國立公園(世界の)	二〇六	コロンビヤ	三三
國立公園候補地	二〇六	金剛流(樂師)	三三
國立公園法	二〇六	金春流(樂師)	三三
國立公園問題	二〇六	金春流(樂師)	三三
國立試驗場長(商工省一人名錄)	二〇六	災害事故死亡人員	三三

サ

在外大公使館	二〇六	札幌市	二〇六
在留外國人(本邦)	二〇六	砂糖消費稅法の改正	二〇六
財界概観	二〇六	砂糖需給表	二〇六
財政概観	二〇六	左翼學生處分	二〇六
財政經濟	二〇六	サルヴアドール	二〇六
財政經濟日誌	二〇六	産業組合狀況	二〇六
價券利廻表	二〇六	産業組合中央金庫(人名錄)	二〇六
歳出及租稅負擔(道府縣)	二〇六	産業別工場生産額累年表	二〇六
歳出統計(中央財政)	二〇六	産業部長(人名錄)	二〇六
歳入科目別(中央財政)	二〇六	露糸産額(道府縣別)	二〇六
埼玉縣(地方年觀)	二〇六	産兒調節の新團體	二〇六
裁判所(人名錄)	二〇六	産婆數	二〇六
罪名別、犯罪年輪別百分比	二〇六	參謀本部(人名錄)	二〇六
在刑務所人員	二〇六	サン・マリノ	二〇六
サウエート大會	二〇六	衆議院解散一覽表	二〇六
サウエート・ロシヤ	二〇六	衆議院議員(人名錄)	二〇六
佐賀縣(地方年觀)	二〇六	衆議院議員(死亡者)と區名	二〇六
全日本蹴球選手權大會	二〇六	衆議院總選舉一覽	二〇六
雜誌種別數	二〇六	衆議院黨派の消長	二〇六
雜誌種一覽	二〇六		

シ

蹴球	二〇六	市債(六大都市參照)	二〇六
宗教一年史	二〇六	市債總額累年比較	二〇六
住宅組合	二〇六	市職人出表	二〇六
細珍戰國鑑	二〇六	市制施行年月日(全國百九市)	二〇六
十大都市	二〇六	市長(人名錄)	二〇六
重師團、輕師團	二〇六	市町村數一覽	二〇六
主要官廳職員錄	二〇六	市部人口と郡部人口の割合	二〇六
重要産業統制委員會官制公布	二〇六	市役所高級職員(六大都市參照)	二〇六
重要産業統制法會議	二〇六	滋賀縣(地方年觀)	二〇六
重要産業統制法	二〇六	(道府縣統計參照)	二〇六
重要商品相場累年表	二〇六	資源局(人名錄)	二〇六
重要出來事(日本世界對照年表)	二〇六	事業界	二〇六
重要輸入品價額概算表	二〇六	事物起源(日本世界對照年表)	二〇六
重要輸出品價額概算表	二〇六	事務停止裁判所問題(議會)	二〇六
寺院及住職數	二〇六	自殺者因由	二〇六
市(都市、六大都市、十大都市參照)	二〇六	自動車數	二〇六
市營電車(六大都市參照)	二〇六	自動車數(府縣別、世界)	二〇六
市會(六大都市及十大都市)	二〇六	自動水力發電所(科學知識)	二〇六
市會議員(六大都市參照)	二〇六	自由氣球世界記錄	二〇六
市會議長(人名錄)	二〇六	死因概観	二〇六
市基本財産表	二〇六	死亡原因と累年比較	二〇六
市債(都市參照)	二〇六	死亡率、乳兒死亡率	二〇六

時差(世界の)	二〇六	支那の國債	二〇六
時宗(各宗本山一覽)	二〇六	支那の財政	二〇六
侍從武官府(人名錄)	二〇六	支那の大洪水	二〇六
子爵(人名錄)	二〇六	支那(貿易)各國	二〇六
史蹟、名勝天然記念物	二〇六	支那の綿業	二〇六
私設放送局	二〇六	師範學校累年比較	二〇六
私設鐵道(一覽)	二〇六	紙幣及銀行券流通高	二〇六
私立大學	二〇六	司法・行刑・警察	二〇六
師團長(人名錄)	二〇六	司法警察官の檢舉件數	二〇六
師團聯隊所在地	二〇六	司法省(人名錄)	二〇六
室內樂の消長	二〇六	司法大臣(歴代)	二〇六
失業率(國勢調査)	二〇六	島根縣(地方年觀)	二〇六
失業公債の發行	二〇六	(道府縣統計參照)	二〇六
失業對策(議會)	二〇六	社會民衆黨	二〇六
靜岡縣(地方年觀)	二〇六	社會事業	二〇六
(道府縣統計參照)	二〇六	低利資金融通額	二〇六
實用新案	二〇六	公益法人	二〇六
實業專門學校	二〇六	社會事業費(道府縣市町村)	二〇六
實業補習學校累年比較	二〇六	社會局關係豫算調	二〇六
幣原首相代理失言取消文	二〇六	借地借家調停成績	二〇六
幣原首相代理の失言問題	二〇六	釋放者保護人員及保護會	二〇六
支那(中華民國參照)	二〇六	社寺致會	二〇六
支那宛郵便(料金)	二〇六	社債發行償還高	二〇六
支那大洪水御救恤	二〇六	ジャイナリズム(文藝界)	二〇六
支那内河及沿岸航行現勢	二〇六		

シヤズ	六四一	主要債利通表	一八一	昭和七年略曆	一	省別面積及び人口(中華民國)	二九
寫真界	六四一	祝賀(人一代の)	六三	昭和六年度豫算	六三	上水道	二九
尺貫法(以法比較)	六三九	首相代理の演説(議會)	三〇	商業人口(列國職業別)	七九	常設國際司法裁判所	二八
酌婦(地方別)	三三三	種痘人員と成績	三〇	商工會議所	一七	淨土宗(一覽)	二二
シヤム古美術展	三三三	出入船客數	三〇	商工省人名錄	二六	上陸外人數(各港)	二二
シヤム	三〇二	出版界概觀、主要記録	二六九	商工大臣(歴代)	二六	新樂器(科學知識)	六〇
シヤム皇帝	三〇二	出版界(文學)	三九二	商事調停	二六	マルテノ、テレミシ、威茲	六〇
植民地	三〇二	出版圖書數、類別(列國)	三九二	商品	一六五	新規事業費	二二
歴代樺太廳長官	四七九	出版圖書累年比較	三九二	商品生産制限率	一六五	新劇俳優(名鑑)	二二
歴代關東廳長官	四七八	出版圖書事件數	三九二	商品相場累年表	一六〇	新興大和繪會の解散	二二
歴代台灣總督	四七五	受刑者人員	三九二	小學校教員月俸額類別	二四〇	新受刑者教育別	二二
歴代朝鮮總督	四七五	受刑者罪名及男女別	三九二	小學校教員月俸平均額累年表	二四二	新造船進水高(列國)	二二
植民地大觀、面積、人口	四七一	趣味と娯樂	四〇一	小説界	二四〇	新派俳優(名鑑)	二二
所得稅表、同人員表	四七二	春陽會展	四〇一	小兒保險	二四〇	新聞	二二
同類別表(第二種)	四七二	巡洋艦	四〇一	少年團	二四〇	新聞(米、英、露、獨、佛、伊)	二二
職業紹介事務局長(人名錄)	四七二	巡洋艦	四〇一	蔣介石の對共大計畫	二四〇	列國國勢參照)	二二
職業別人口(帝國と列國)	四七二	書籍の寸法	四〇一	蔣張の協調	二四〇	新兵器の發達	二二
初等教育(列國)	四七二	書籍及雜誌輸出入額	四〇一	將泰	二四〇	新法律(軍人待遇改善)	二二
諸車現在數	四七二	女官	四〇一	娼妓健康診斷	二四〇	新法律(法律知識參照)	二二
諸學校總覽	四七二	女子青年團	四〇一	娼妓、遊客	二四〇	眞空管(科學知識)	二二
主要港開港程	四七二	女子國際競技	四〇一	正金銀行(人名錄)	二四〇	眞言宗(一覽)	二二
同(外國航路)	四七二	昭和五、六年略史	四〇一	昌德宮(李王家)	二四〇	眞宗(一覽)	二二
主要國中央銀行の資産負債表	四七二	昭和五年人口動態	四〇一	消防組數及び消防職員	二四〇	深海(海溝)	二二
						震災(豆相地方)	二二

紳士録(名士録)	七五五	人口密度(本邦)	六〇六	スエーデン	五〇	青少年團及女子青年團一覽	三三
臣籍に降下の皇族	七五五	人口密度(世界)	六〇六	スケート	六六	成帯團の探檢	三三
信託會社諸動定	七五五	人口生産高(各國)	六一	スキー全日本選手權大會	六六	青島支那人暴行事件	三三
神宮及官國幣社一覽	七五五	人造絹糸供給表	六一	スペイン	五〇	青年訓練所	三三
神宮競技	七五五	人造人間(科學知識)	六一	スペイン革命の經過	五〇	青年日本號出發	三三
神社及神宮神職數	七五五	人體の化學的成分	六一	スポーツ	六六	正貨	三三
神社祭日(官國幣社一覽)	七五五	人名錄	七三	相撲	六六	正貨現在高	三三
神道各教派と信徒數	七五五					正貨保有高(各國)	三三
神道祠宇教會、教師數	七五五					稅務監督局長(人名錄)	三三
人口帝國	七五五					稅關長(人名錄)	三三
道府縣	七五五					清涼飲料水	三三
都市	七五五					世界一周飛行記録	三三
二萬以上の町村	七五五					世界各國の婚姻、離婚、出生、死亡及び自然増加	三三
帝國一年齡別	七五五					世界各宗教徒一覽	三三
道府縣本籍別	七五五					世界各地の時差	三三
帝國と列國一職業別	七五五					世界金銀產額	三三
世界の人類別	七五五					世界航空記録	三三
アイヌ	七五五					世界航空競争(朝日新聞)	三三
人口沿革(日本)	七五五					世界鋼生産高	三三
人口増加率(帝國)	七五五					世界主要國貨物輸出入高	三三
人口増加率(列國)	七五五					世界主要大學	三三
人口男女比率(本邦)	七五五					世界石炭生産高	三三
人口男女比率(世界)	七五五					世界大飛行一覽	三三
人口動態(内地)	七五五						
人口動態(道府縣)	七五五						

世界年表	三六
世界の深海(海溝)	三六
世界早廻り新記録	三六
世界棉花生産高	三六
世界列國の鐵道	三六
世帯及び人口(帝國)	三六
赤外線寫眞成功	三六
石炭需給表	三六
石炭生産高(世界)	三六
節約額(豫算)	三六
全關西聯合婦人大會	三六
全國氣象摘要	三六
全國銀行勘定	三六
全國商工會議所一覽	三六
全國多額納稅者(人名錄)	三六
全國中等野球地方豫選大會	三六
全國中等學校野球大會	三六
全國中等野球優勝校(第一回以來)	三六
全國都市の人口と世帯	三六
全國取引所一覽	三六
全國勞動組合同盟	三六
全國勞農大眾黨結成	三六
全國勞農大眾黨	三六
壯丁教育程度別一覽表	三六
壯丁體格道府縣別	三六
壯丁體格累年比較	三六
壯丁の病氣	三六
造船所及造船數	三六
同(列國)	三六
曹洞宗(一覽)	三六
總理大臣(歴代)	三六
總理大臣(人名錄)	三六
總領事館、領事館	三六
綜合競技	三六
ソヴェート・ロシア(サウエ	三六
一ト参照)	三六
速度比較	三六
俗樂の衰退	三六
租借地(中華民國)	三六
租稅一人當り負擔額表	三六
租稅收入内譯表	三六
租稅負擔(道府縣)	三六
空の女子飛來	三六
損害保險(成績表)	三六
村社數	三六
大審院(人名錄)	三六
大審院被民事件數	三六
大學(世界主要)	三六
大學長(人名錄)	三六
大學・高等・專門學校一覽	三六
大學附屬專門部主事(人名錄)	三六
大學寮科	三六
大學累年比較	三六
大空の地圖完成	三六
大勳位(人名錄)	三六
大使館所在地	三六
大使館(人名錄)	三六
大使、公使(本邦駐在各國)	三六
大臣(人名錄)	三六
大西洋橫斷飛行	三六
大地震一覽	三六
大日本聯合婦人大會	三六
太平洋橫斷飛行に懸賞	三六
大飛行一覽(世界)	三六
大飛行記録	三六
大洋洲(面積、人口)	三六
台灣	三六
產業	三六

チ

主要都市人口	三五
種別別人口累年比較	三五
歴代總督	三五
各州廳所在地、面積、人口	三五
台灣銀行(人名錄)	三五
台灣總督府(人名錄)	三五
台灣朝鮮貿易	三五
台北帝國大學	三五
對支貿易(各國)	三五
體溫、血壓、脈搏數	三五
待命外交官(人名錄)	三五
代議士一覽	三五
第五十九議會	三五
第二次五年計畫(ロシヤ)	三五
兌換券最高最低表	三五
高松宮	三五
高松宮御歸朝	三五
多額納稅者(人名錄)	三五
拓務大臣(歴代)	三五
拓務省(人名錄)	三五
竹田宮	三五
短波長通信機(科學知識)六六、六七	三五
男爵(人名錄)	三五
ダンチツと自由市	三五
中央大學	三五
中央財政	三五
中央財政統計	三五
中華民國	三五
中華民國外交一年史	三五
關稅	三五
廣東政府樹立	三五
訓政時期約法	三五
工業	三五
國民政府組織法	三五
國民黨	三五
財政	三五
新關稅率實施	三五
新輸出稅率實施	三五
政治	三五
長江の大洪水	三五
内政一年史	三五
貿易	三五
面積及人口	三五
中學校累年比較	三五
中學校令施行規則改正	三五
中等學校野球大會	三五
中等學校施行規則の改正	三五
中毒	三五
チエツコ・スロヴァキア	三五
治外法權撤廢交渉(民國)	三五
著書目録レコード	三五
知事(人名錄)	三五
秩父宮	三五
千葉縣(地方年觀)	三五
(道府縣統計参照)	三五
勅題	三五
勅題と詠進の書式	三五
勅選議員(貴族院)	三五
著作權法の改正	三五
長距離飛行世界新記録	三五
長橋(本邦)	三五
同(世界)	三五
長江水害御救恤	三五
朝鮮	三五
產業	三五
主要都市人口	三五
種別別人口累年比較	三五
道廳所在地と人口	三五
歴代總督	三五
朝鮮王族及公族	三五
朝鮮各地の騷擾	三五
朝鮮貴族(人名錄)	三五
朝鮮銀行(人名錄)	三五
朝鮮銀行ウラジホ支店閉館	三五
事件	三五
朝鮮殖産銀行(人名錄)	三五
朝鮮神宮殿技大會	三五
朝鮮總督更迭	三五
朝鮮總督府(人名錄)	三五
町村基本財産表	三五
町村蔵入表	三五
町村人口(二萬以上の)	三五
徴兵適齡注意	三五
テリ	三五
鎮守府(人名錄)	三五
地租地目別表、同納額別人員	三五
地租法(新法律)	三五
地租法と海軍補充	三五
地租法の劃期的改正	三五
地震、地震帶、強度	三五
地震(氣象)	三五
地方起債の激増	三五
地方起債許可額	三五
地方議會總選舉	三五
地方債(道府縣)	三五
地方債團體別累年比較	三五

地方債、利率別比較表	135	帝國的位置	30
地方債團體別内譯表	135	帝國の周圍と面積	30
地方債目的別内譯表	135	帝國の世帯及人口	30
地方債目的別累年比較	135	帝國議會	30
地方裁判所(人名録)	33	帝國議會會期成績、正副議長一覽	30
地方裁判所扱民事件數	33	帝國海軍經費の趨勢	31
地方財政	100、101	帝國艦艇一覽	31
地方財政統計	100、101	帝國艦艇隻數、噸數	31
地方稅收入稅外收入割合表	121	帝國學士院	31
地方稅收入累年表	121	帝國大學(人名録)	31
地方團體歲出入出累年表	150	帝國大學及官立大學	31
地方廳職員一覽(人名録)	74	帝國飛行協會	31
地方年報(道府縣の年史)	101、102	帝國美術院展覽會	31
地方有財產表	80-87	帝國陸軍經費	31
地方有財產(道府縣)	80	帝國技術員	31
地方豫算編成方針	80	帝國經濟	31
通過した法律案(議會)	18	帝展搬入拒絕問題	31
通貨の收縮	120	帝都復興	31
通貨流通高	120	庭球	31
豆相地方の震災	120	朝日招待大會	31
通信社	121	關西、關東選手權大會	31
	121	俱樂部對抗大會	31

テ

全國高專、高校大會	35	天台宗(一覽)	32
著名大會優勝者	35	天然記念物	32
日本選手順位	35	天文氣象	32
佛英米選手ランキング	35	展覽會一覽	32
庭球選手(日本)	35	電氣應用兵器	32
定期旅客機墜落	35	電氣爲替	32
抵當證券法	35	電送寫眞	32
遞信局長(人名録)	35	電報通數	32
遞信省(人名録)	35	電話(規則)	32
遞信省命令航路	35	電話加入者數	32
遞信大臣(歴代)	35	傳染病潜伏期	32
遞短波長通信(科學知識)	35	田畑價格並に實收小作料	32
手形交換高	35	デนมーカー	32
鐵道(列國)	35		
鐵道(滿蒙)	35		
鐵道運賃	35		
鐵道貨物(商品)	35		
鐵道貨物減減	35		
鐵道規則摘要	35		
鐵道省(人名録)	35		
鐵道大臣(歴代)	35		
デヴィス・カップ戦	35		
デシメートル	35		
テレビジョン(科學知識)	35		

ト

トーキー(科學知識)	32
トーキー(傑作)	32
東京朝日新聞(一覽)	32
東京各市間里程表	32
東京小賣物價指數表	32
東京帝國大學	32
東京市	32
東京府(地方年報)	32
(道府縣統計参照)	32

東京飛行場	132	同成會(貴族院)	132
東照宮記念青英獎學資金	132	同和會(貴族院)	132
東西金利最高最低表	132	銅鑄給表	132
東大左黨學生處分	132	ドイツ	132
東北帝國大學	132	(政治、社會、經濟、最近情勢)	132
東洋婦女賣買調査委員來朝	132	ドイツ日本美術展	132
冬季競技	132	ドイツ賠償モラトリアム	132
統制委員會官制公布	132	調印	132
登録船現在及積量別	132	德島縣(地方年報)	132
道府縣	132	(道府縣統計参照)	132
歲出入及地方債地方有財	132	特殊銀行會社要職(人名録)	132
產	132	特許工業別累年比較	132
歲入歲出表	132	特許工業別累年比較	132
歲出及租稅負擔	132	特許出願登録數	132
生産統計表	132	同列國	132
年史(地方年報)	132	特許累年比較(工業別)	132
面積、人口	132	特別會計歳入歳出	132
府縣會議員黨派別一覽表	132	特別議會後の政界	132
府縣會議員一覽表	132	特務監	132
知事(人名録)	132	獨逸關稅協定問題	132
府縣別壯丁體格	132	100-240, 240	
府縣有財產表	132	獨立美術展	132
豫算編成方針	132	獨立美術協會設立	132
豫算	132	毒ガス(科學知識)	132
同志社大學	132	都市	132

ナ

土木出張所長(人名録)	32
栃木縣(地方年報)	32
(道府縣統計参照)	32
ドミニカ	32
富山縣(地方年報)	32
(道府縣統計参照)	32
渡來外人數	32
取引所一覽(全國)	32
取引所一覽	32
トルコ	32
トンネル(量目)	32
トンネル(世界)	32
内外の空(航空日誌)	32
内閣(人名録)	32
内閣一覽	32
内閣不信任問題	32
内閣債	32
内閣通信(規則)	32
内閣郵便(規則)	32
内親王御誕生	32
内大臣(歴代)	32
内大臣府(人名録)	32

内地鉄鋼需給	一八五	日本大相撲屋取表	六九
内地米需給対照表	一八三	日本海員組合	四一
内務省(人名録)	七九	日本外交	一九六
内務大臣(歴代)	三三	日本勸業銀行(人名録)	五〇
内務部長(人名録)	七〇	日本銀行(人名録)	五〇、六一
中村大尉虐殺事件	六八	日本銀行公定利子	五〇
長崎縣(地方年観)	四六	日本銀行諸勳定	五〇
(道府縣統計参照)	三三	日本銀行利下	五〇
長崎港入港船一覽	三三	日本空輸機墜落	三三
長崎市	三三	日本興業銀行(人名録)	五〇
長野縣(地方年観)	四九	日本寫真大サロン	五〇
(道府縣統計参照)	三三	日本人移民法解除(南阿聯邦)	五〇
名古屋市	四一	日本赤十字社の事業	五〇
名古屋離宮廢止	三三	日本世界對照年表	五〇
梨本宮	三三	日本大學	五〇
奈良縣(地方年鑑)	三三	日本庭球選手權大會	五〇
(道府縣統計参照)	三三	日本庭球選手順位	五〇
南阿聯邦	三三	日本のエヤ・ライン	五〇
南滿展	三三	日本の航空燈台	五〇
南米航路運賃	三三	日本の三エヤ・ポート	五〇
南米の英國貿易博	三三	日本民間航空機乗員數	五〇
南洋群島	三三	日本放送協會の一年間	五〇
歴代長官	三三	日本美術院第十七回展	五〇
南洋線運賃表	三三		
南洋廳(人名録)	三三		
南洋郵船會社(命令航路)	三三		
		日本郵船會社	三二、三三
		日本労働組合總評議會生る	三三
		日本労働組合總聯合	五〇
		日本労働總聯盟	五〇
		ネパール	五〇
		年號	三三
		年史(昭和五・六年)	六六
		年中行事	五〇
		年表	五〇
		年齢・干支・九星早見表	三三
		年齢別人口(日本)	三三
		年齢別人口(世界)	三三
		ノーベル賞	三三
		農家戸數	三三
		農家戸數累年表	三三
		農業及林業人口(列國職業別)	三三
		農業耕地面積	三三
		農作物産額(滿洲)	三三

農産物收穫高	四三	澤布(世界)	五
農産物生産高累年表	一八三	博士數	三八
農商務大臣(歴代)	三三	伯爵(人名録)	七〇
農村	三三	図書館市	三三
農村經濟の恐慌化	一三	發電力累年表	一八六
農村の窮狀打開策(議會)	一七	發明件數と地方別	三三
農民組合	五〇	發明ニユース	三三
農林省(人名録)	五〇	發明と發見	三三
農林大臣(歴代)	三三	母の日	三三
能樂	三三	濱口首相の遭難	二〇
能樂界大觀	三三	濱口内閣總辭職	二〇
能樂界消息	三三	濱口病首相の登院	二〇
能樂師	三三	濱口民政黨總裁辭任	二二
能舞台	三三	濱口前首相葬去	二二
ノルウェイ	三三	バスケット・ボール	三三
		バナム	三三
		雙子方	三三
		パラグアイ	三三
		パラシューター宮森觀	三三
		パリ東京飛行不時着	三三
		バレエ・ボール	三三
		ハンガリー	三三
		ハンガリー機大西洋横斷	三三
		反宗教運動	三三
		帆船數	三三
		犯罪檢擧件數	三三
		犯罪者地方別及人口比例	三三
		犯罪者年輪別	三三
		萬國學術研究會議	三三
		萬國船舶信號書の改訂	三三
		蕃人(台灣)	三三
		東久瀨宮	三三
		東伏見宮	三三
		非キリスト教徒	三三
		飛行機數(列國)	三三
		飛行機世界記録	三三
		飛行機墜り自殺	三三
		飛行士數(日本)	三三
		同(列國)	三三
		飛行場長(航空官、人名録)	三三
		飛行船航空新記録(本邦)	三三
		飛行船世界航空新記録	三三
		飛行艇世界記録	三三
		飛行艇隊長(人名録)	三三
		被殺害者	三三
		美術	三三
		美術界消息	三三
		美術界年観	三三
		美術館(世界の)	三三
		ピツカールの成帯圖探検	三三
		人一代の祝賀	三三
		備砲(帝國艦艇一覽)	三三
		病院と患者數	三三
		兵庫縣(地方年観)	三三
		(道府縣統計参照)	三三
		氷上選手權大會	三三
		評論界(文藝)	三三
		肥料と米の低產割合	三三
		廣島縣(地方年観)	三三
		(道府縣統計参照)	三三
		廣島市	三三
		フ	
		フーダア大統領聲明書	三三
		ブータン	三三
		フィリッピン群島	三三
		フィンランド	三三
		舞臺復古の兆	三三
		舞踊	三三
		福井縣(地方年観)	三三

府縣(道府縣参照)	三〇
府縣會議議長(人名録)	三〇
府縣會議員新定員	三〇
府縣會議員黨派別一覽表	三〇
府縣債	三〇
府縣債總額累年比較	三〇
府縣社數	三〇
府縣知事(人名録)	三〇
府縣豫算	三〇
福岡共産黨事件	三〇
福岡縣(地方年観)	三〇
福岡市	三〇
福岡飛行場	三〇
福岡縣(地方年観)	三〇
(道府縣統計参照)	三〇
伏見宮	三〇
婦人界	三〇
(經濟、政治法律、教育、勞働、國際)	三〇
婦人公民權と議會	三〇
婦人實業調査委員來朝	三〇
婦選と婦人團體	三〇
敷設	三〇
不戰條約と聯盟規約	三〇
佛伊海軍協定行儀み	三〇
佛領大西洋逆コース成功	三〇
佛領印度支那關稅	三〇
佛領各宗派總本山、本山	三〇
物價	三〇
物價及相場	三〇
物價指數對照表	三〇
物價低落	三〇
ブラジル	三〇
移民及日本との關係	三〇
フランス	三〇
(政治、社會、經濟、最近政情)	三〇
フランス展	三〇
ブルース展訪日飛行完成	三〇
ブルガリア	三〇
プロレタリア美術展	三〇
文藝	三〇
米穀法中改正	三〇
米穀取引所(一覽)	三〇
米露國交回復名詔	三〇
病院と患者數	三〇
兵庫縣(地方年観)	三〇
(道府縣統計参照)	三〇
水上選手權大會	三〇
評論界(文藝)	三〇
ベルギー	三〇
ベルギー	三〇
ベルリン條約の更新	三〇
邦楽レコード	三〇
豐作飢饉(米)	三〇
寶生流(樂師)	三〇
寶物(國寶)	三〇
放送局表	三〇
放送局の新設	三〇
暴風雨(氣象)	三〇
貿易	三〇
貿易(中華民國)	三〇
貿易額(昭和六年上半年期)	三〇
台灣、朝鮮	三〇
貿易月別表	三〇
貿易外國收支	三〇
ボーグ問題(六大學野球、慶明試合)	三〇
ボーランド	三〇
保險事業成績表	三〇
保護建造物(國寶)	三〇
補填稅の新設(中華民國)	三〇
北海道(地方年観)	三〇
(道府縣統計参照)	三〇
北海道拓殖銀行(人名録)	三〇
北海道帝國大學	三〇
歩兵旅團長(人名録)	三〇

ボリツイア	三〇
ボルトガル	三〇
本山(佛敎各派)	三〇
本籍人口(本邦内地)	三〇
本邦航空發達小史	三〇
本邦大飛行記録	三〇
本邦地誌	三〇
本邦駐在各國大公使一覽	三〇
本邦駐在列國領事館	三〇
本邦の主たる湖沼	三〇
本邦貿易外國收支	三〇
本邦民間航空機及び發動機製作所	三〇
本邦民間飛行機要目	三〇
ホンジュラス	三〇
滿鐵總裁の更迭	三〇
滿蒙鐵道投資國別表	三〇
滿蒙鐵道問題(外交)	三〇
萬寶山事件	三〇
三重縣(地方年観)	三〇
(道府縣統計参照)	三〇
水先免狀受有者	三〇
南アメリカ洲(面積、人口)	三〇
宮城縣(地方年観)	三〇
(道府縣統計参照)	三〇
宮崎縣(地方年観)	三〇
(道府縣統計参照)	三〇
ミシシッピ(量目)	三〇
ミシシッピ(量)	三〇
ミシシッピ(量)	三〇
民間飛行機數(列國)	三〇
民間飛行機要目	三〇
民間飛行場(各國)	三〇
民間飛行練習所(本邦)	三〇
民國在留外人並に商社數	三〇
民事事件一覽表	三〇
民政黨幹部(人名録)	三〇
民族衛生(科學知識)	三〇
無格社數	三〇
無產政黨一覽	三〇
無產政黨合同問題	三〇
無產政黨解消運動	三〇
無產派の戰績(衆議院總選舉)	三〇
無職業者人口(列國職業別)	三〇
無線電報(料金)	三〇
無線電話(規則)	三〇
無線科學年代表	三〇
無線電燈(科學知識)	三〇
霧社事件	三〇
命令航路	三〇
メキシコ	三〇
面積(帝國)	三〇
面積(列國)	三〇
面積(道府縣)	三〇
棉花生產高	三〇
綿絲發給表	三〇
モーニングを通常服に	三〇
蒙古(滿洲中)あり	三〇
盲啞學校累年比較	三〇
門司港入港船一覽	三〇
モナコ	三〇
物の速度比較	三〇
モダイン語解(流行尖端語解)	三〇
文部省(人名録)	三〇
文部大臣(歴代)	三〇
ヤードポンド法(メートル法比較)	三〇

朝日年鑑廣告目次

食料品問屋 松下商店	特表	日本語速記術 文花堂書店	二九	株 古賀積(福岡市)	五七	北京料理 東海樓	六六
日本火災保険株式会社	特表	何處の家庭にも必要な書籍 小島文開堂	三〇	キツヨーマタ醬油	五八	名代割烹 天つる	六六
大阪大賞堂	特表	齋藤式精氣療法 齋藤精	三一	ラツパミルク (神戸市)	五八	純北京料理 天仙閣	六六
大同生命保険會社	特表	肺結核治療 伊藤由商店	三二	大阪著名料理士案内	五九	大阪有名食料品界	六六
大同病院	特表	劑イブシロン 伊藤由商店	三三	ふとん、蚊帳その他 西川甚五郎商店	六〇	クラブ煉炭	六六
シニアイサルマタ スキイ印メリヤス 愛美子供蚊帳	四	保健と衛生の鍵 七葉劑店	三四	アサヒビートル、リボンシトロン 大日本式會社	六〇	帽子 田川一郎商店	六三
イシカハ肝油(石川製藥所)	二	仁丹・仁丹ハミガキ・仁丹體溫計・仁丹香錠・仁丹石 森下博 營業所	三五	防水マント、おしめかばり 井上兼商店	六一	御料理旅館 むさし野	六三
鮮菓案内所	一	仁丹・仁丹ハミガキ・仁丹體溫計・仁丹香錠・仁丹石 森下博 營業所	三五	おしめかばり 井上兼商店	六一	「生花のしるべ」 大文館	六三
松井鐵工株式會社	一〇	大阪有名病院案内	三六	金屏風金銀 河本金鈔店	六一	無縁補器 文化堂製劑局	六三
書翰大辭典(堀文友堂)	二〇	ザガミイチ醬油 末廣茂吉	三六	テレウイジ ヨンの原理 文英堂書店	六一	大阪有名藝術寫眞館案内	六七
體育良書(堀文友堂)	二〇	梅原インキ製造株式會社	三六	と製作法 文英堂書店	六一	刀圭界の權威 四大病院	六七
白鶴 嘉納合名會社	二二	放資利殖 岩井庄藏商店	三六	かわる醬油 三木合名會社	六一	朝日新聞社出版部	六七
大阪有名計理士案内	二二	の指針 川澄煉炭株式會社	三六	煉炭、豆炭 湯淺煉炭製造所	六一	朝日新聞社出版部	六七
清保醫藥 西川清保藥院	二二	三筋入豆炭 株中長商會	三六	軍用大の飼育と訓練 致練圖書出版社	六一	エキセ、モンパ、ベルミン 光榮商會	六七
濱口熊嶽靈術師 濱口熊嶽靈術所	二二	金色鹽法瓶 山中長商會	三六	詩書類 田中宋榮堂	六一	華陽堂病院	六七
						日本生命保險會社	裏表紙

大阪朝日新聞

創業53年 『大阪朝日』は明治12年1月25日の創刊にして、同21年7月1日『東京朝日』を兼營す

資本金 600萬圓 東西兩朝日新聞は株式會社朝日新聞社の發行にかゝるもので、資本金600萬圓、全額拂込済

社長村山龍平氏 大阪朝日創刊以來新聞事業に専念す、その功により勳二等を賜はり貴族院議員に勅選さる。取締役會長上野精一氏は創業の功勞者故理一氏の嗣、副社長は法學博士下村宏氏

朝日スクエア 建坪15000坪 最近大阪朝日新聞社は中之島の一角堂島土佐堀兩川及び之を繋ぐ瀬河を以て圍まれたスクエアを完全に占有するに至り、この敷地2357坪の内に朝日本社、朝日會館、朝日ビルディングを包容し、その延建坪10、120坪、又東京朝日新聞社は、帝都の中心 數寄屋橋畔にあり近代建築の粹を誇る敷地1、415坪、延建坪4、760坪

従業員 3,399名 大阪朝日社員769名、同雇員1,220名、計1,989名、東京朝日社員564名、同雇員846名、計1,410名(配達人を除く)

超高速輪轉機36台 大阪朝日は時速4頁紙16萬、經濟時速13萬の國產機をはじめ21台の輪轉印刷機を有し、この刷出高1時間200萬枚、東京朝日は15台で、刷出高144萬枚

電送寫眞機・氣送管・専用電話 以上の外多色印刷アイリス機1台、グラブエア印刷機4台、大朝大阪中央電信局間電報送受用氣送管、東京大阪間専用電話線、シーメンス・カロール・テレフンケン式電送寫眞機2セット、電光ニュース装置、傳書機等の設備あり

飛行機19台 ドルニエ・メルグール型旅客機、訪歐飛行を完成したプレーグー機、着陸自在の輕飛行機ブスモス號など、合計19台を有し、東京、新潟間定期航空及び新聞原稿輸送、空中寫眞撮影等に使用

内地通信網 大阪朝日管内支局1、通信局7、通信部35、通信所43、外通信員260名、東京朝日管内通信局7、通信部70、外通信員177名

海外特派員 ロンドン、ニューヨーク、パリ、ベルリン、モスクワ、ロサンゼルス、北平、上海、奉天、ハルビン、大連等の外各地に通信員あり

野球大會其他 本社主催全國中等學校優勝野球大會は大正4年初めて舉行昭和6年を以て17回を重ね、参加550校より選抜された22チームで競技を行ひ、8日間を通じて80萬人の觀覽者があつた。右の外毎年舉行せる文化的事業は、健康優良兒表彰、朝日賞授與、全關西婦人聯合大會等である

定期刊行物12種 大阪朝日新聞(日刊、朝夕刊16頁)東京朝日新聞(日刊、朝夕刊14頁)週刊朝日、アサヒグラフ(以上週刊)アサヒスポーツ(月二回)大阪朝日縮刷版、東京朝日縮刷版、アサヒカメラ、映畫と演藝、コードモアサヒ、婦人(以上月刊)朝日年鑑、運動年鑑、經濟年史、美術年鑑其他諸種年鑑(年刊)

朝日新聞社會事業團 社団法人として昭和3年1月設立、朝日會館により社會教化事業を行ひ、その収益及び朝日新聞社その他の寄附金を以て、兒童保護を主とする社會事業を行つてゐる、理事長村山龍平氏

朝日會館 大正15年10月竣工、地下室共七階、三階を諸種の展覽會場、四階以上を公演場とし、絶えず社會教化的の役物をなす、公演場の収容力1,600人

朝日ビルディング 朝日スクエアの東北隅に屹立する地下二階、地上十階、塔屋頂上まで105尺の大建築、昭和6年8月竣工、第一階に朝日新聞社營業局の事務室を置き、他は賃貸する、航空標識燈、冷房装置、防音装置、オゾン發生装置、スケートリンクス、ペビーゴルフ場、和洋料理店等の設備あり

昭和六年九月十日印刷
昭和六年九月十日發行

「昭和七年朝日年鑑」 定價八十錢

大阪市北區中之島三丁目三番地
株式會社朝日新聞社

編輯兼發行
兼印刷者 大道弘雄

大阪市北區中之島三丁目三番地
株式會社朝日新聞社

不許
複製

印刷所 大阪朝日新聞發行所

發行所 大阪市北區中之島三丁目三番地 株式會社朝日新聞社

本社では文化の進歩に資する爲め次の如く

多くの定期刊行物を發行してゐます

週刊朝日 毎部十二錢・一ヶ月四十錢發行

アサヒグラフ 毎部二十錢・一ヶ月七十錢發行

アサヒスポーツ 毎月一日・十五日發行 一部三十錢・一ヶ月六十錢

大阪朝日縮刷版 毎月二五日發行

東京朝日縮刷版 毎月二五日發行

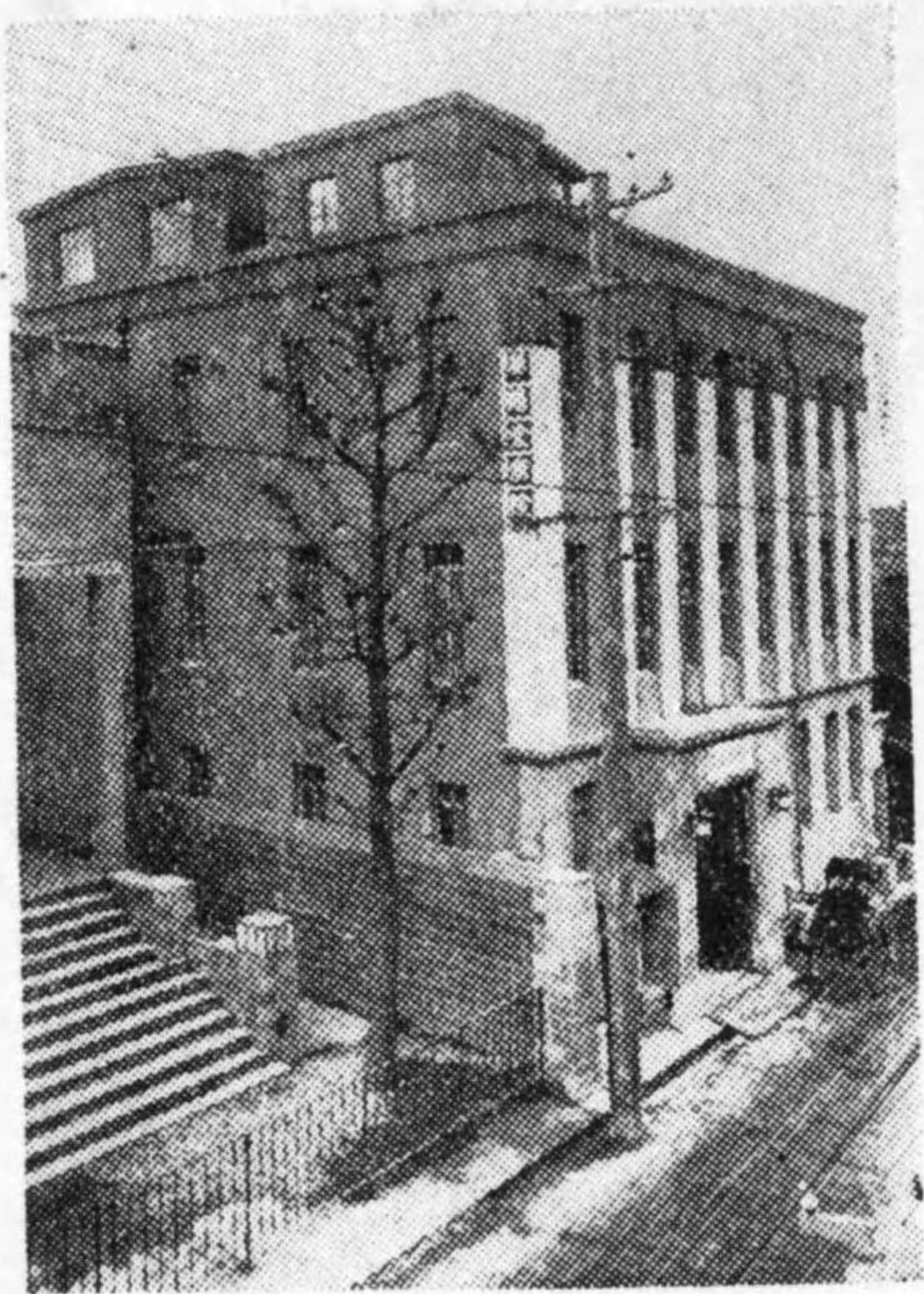
婦人 毎月二十日發行

映畫と演藝 毎月十五日發行

アサヒカメラ 毎月八日發行

(全國朝日新聞取次店又は書店へ御申込み下さい)

大阪朝日新聞社發行部
大阪大坂五〇五 東京一七三〇番



華陽堂病院

院長 医学博士 井尻辰之助

泌尿器科
腎臓膀胱尿管・尿道系疾患

皮膚病

性病科

島内 大阪市南區千年町
市電堺筋清水町下車
島ノ内警察署横
電南二二八五、七二八八番

北浜 東區内北浜三丁目
電本局一五六五番

陰囊疹特效新薬

エキセ

無痛 無刺戟 無一效 無速

エキセハ特ニ陰囊疹ニ對シ専門的ニ研究ヲ
ナシ多年臨床實驗ヲ經タル新薬ニシテ從來
ノ此種製劑ト同一視セラレザランコトヲ
性狀 アルコール又ハ油質ヲ含有セザ
ル稀薄ナル液體ナリ

價 三十五圓



全國藥店・百貨店ニアリ



醫學博士 土肥慶藏氏創製
吸出し膏

全國藥店 百貨店有

歌橋ピツ

本品は諸皮膚病に對し既に其効果の定評あるピツ
ク硬膏なれば特に排膿作用(すいだし)最も顯著
能効 わぶと、よう、ちよう、なつほし、あせ
ものより等、腫物の排膿其他あかぎれ

製造元 歌橋製藥所
東京市外品川町二日市十三番地

發賣元 光榮商會

大阪市東區伏見町三

財團法人日本生命濟生會附屬

日 生 病 院

◇ 診察時間 自午前九時
至正午
入院 施設完備
一般病客の診療

院長、内科 博士 長雄勝馬

副院長、外科 博士 勝部育郎

醫學的診療科 博士 西岡時雄

醫學博士 楠本長三郎

◇ 大阪市立賣場南通四
電話新町三二九四・三五三三

最 優 最 大



日 本 生 命

大 阪 市 東 區 今 橋 四 丁 目

財團法人日本生命濟生會附屬

日生病院

◆ 診察時間 自午前九時
至正午
入院施設完備
一般病客の診療

院長、内科醫士 長雄 勝馬
副院長、外科醫士 勝部 育郎
醫學的診療科 西岡 時雄
醫學博士 楠本 長三郎

◆ 大阪府立賣場南通四
電話新町三二九四・三五三三

大最  優最

日生命

大阪府東區今橋四丁目

終